

KOBE KAISEI HOSPITAL



# 神戸海星病院ニュース

## 神戸海星病院 アイセンターをめざして

あづみ あつし  
眼科部長 安積 淳



私が神戸海星病院に赴任してから4年が経とうとしております。昨年4月からは、前任の片上千加子先生から眼科主任を引き継ぎました。歴史ある海星病院眼科を発展させるためにはどうしたらいいのか？あれこれ思案するこの頃です。とはいえ、神戸海星病院眼科には既に先人のおおきな足跡があるので、その後継者として頑張ればよいのです。これはとても幸せなことです。

ご存知の方も多いと思いますが、神戸海星病院の基盤は、先々代の山中昭夫先生によって築かれました。先生は、1980年代初頭、当時まだ世界でも行われ始めて間もなかった眼内レンズ移植や硝子体手術を、神戸ではどの病院よりも早く導入されました。まさに先進医療の先駆けです。おかげで神戸海星病院は白内障手術、網膜硝子体手術のメッカであり続けたわけで、私はそうした海星病院で、山中先生からこれら手術の基本を学ばせて頂く機会に恵まれました。その後、さらに若手の先生がこれら手術を習得／継承し、今や海星病院眼科は白内障手術／硝子体手術の「老舗」の感があります。

また、前任の片上千加子先生は、着任早々角膜センターを立ち上げられ、角膜に関する専門治療に携わってこられました。とくに近年では角膜内皮移植という高度な手術技術を導入されました。残念ながら昨年をもってご退任されたのですが、角膜センターの後任として昨年4月から着任された田口先生は、この角膜内皮移植を神戸海星病院で独自に行えるものにしてくれました。エキシマレーザーによる角膜治療も引き続き可能であり、これからも角膜医療が神戸海星病院の支柱であることは間違いありません。

では、新任の私がすべきことは？先人のこうした歴史が道を示してくれます。私は、神戸海星病院にあらたな

眼科医療分野を持ち込み、発展させればよいのです。幸い私には、眼炎症、眼腫瘍、眼形成外科といった専門分野があります。具体的にはぶどう膜炎とよばれる眼内の炎症性疾患、眼の内外に発生する腫瘍、眼瞼を含めた眼部の異常／変形に対する手術、といった問題を解決することの専門家です。また、昨年には日本眼炎症学会の会長を務めさせて頂く機会もあり、わが国の、世界の、これら分野の専門科との連携ができることも、自分の強みだと思っています。そして、この分野は近畿一円に専門家が少ない眼科分野でもあるのです。

こうしてみると、今や海星病院眼科は、白内障／網膜硝子体疾患といった眼内の疾患に加え、眼表面と呼ばれる角膜結膜疾患、眼球を包む眼瞼／眼窩組織の疾患まで、幅広く全ての眼科疾患に対応可能な病院になれるのではないかと、思えてきます。さらに眼科の枠を越えて内科／外科の先生と連携を図り、ヒトにとって極めて大切な「見る」機能を眼の内／外から治療できる。そんな眼科医師団をめざしたい。眼の中だけを覗き込む眼科という一般眼科病院のあり方を覆したい。

神戸海星病院アイセンター。新たな構想をもって神戸海星病院眼科主任としての責務を全うしたいとおもっております。よろしく願いいたします。

### Profile

1988年 神戸大学医学部卒  
1991年 マイアミ大学 研究員  
1992年 テキサス大学 研究員  
2002年 神戸大学医学部附属病院眼科講師

【医学博士】

- 日本眼科学会認定専門医
- 神戸大学病院非常勤講師
- 隈病院非常勤医師
- 日本眼腫瘍学会理事
- 日本眼窩疾患シンポジウム世話人

当院には、2012年2月現在で8名の薬剤師が勤務しています。薬剤師といえば、処方箋に記載されているお薬を患者様にお渡しする白衣の人、という印象が強いかもしれませんが、病院内ではその他にも様々な仕事をしています。

### 1. 調剤業務



処方箋に基づいてお薬を取りそろえます。内容に疑問があればその都度医師に確認の上、調剤します。外来患者様は原則院外処方箋となるため、入院患者様の調剤が中心です。

### 2. 製剤業務



市販されていない特殊なお薬を薬局内で調製しています。点眼薬・軟膏・うがい薬・点耳薬などを調製しています。

### 3. 注射薬無菌調製



高カロリー輸液と抗がん剤や抗リウマチ薬など、清潔さや取り扱いに注意が必要な薬を調製しています。調製は無菌空間内で行います。

### 4. 服薬指導



入院患者様の病室に訪問しお薬の説明を行います。患者様が持参されたお薬の内容・副作用歴・飲み合わせ等のチェック、お薬の効果・副作用の確認もします。

### 5. 医薬品情報管理業務



医薬品に関する最新情報の収集と管理を行っています。月1回、医薬品に関する情報紙をスタッフ向けに発行しています。医薬品に関する問い合わせにも対応しています。

### 6. その他の業務



医薬品の購入、医薬品の在庫や期限管理などを行っています。薬学部の学生の実習指導も行います。

薬剤師は、医師や看護師ほどは患者様に直接接する機会は少ないですが、安全で確実な薬物治療を行うため、縁の下の力持ちのような役割をしています。お薬に関して疑問や不安があれば、入院・外来に関わらず、いつでも声をかけてください。

## 編集後記

今年に入って、テニスやノルディックスキーなどの分野で日本人のめざましい活躍が続いています。寒い日が続かなか、このようなニュースを耳にすると心が温かくなります。  
(マルモリ)

第1号からの編集に携わせて頂いております。これからも有用な情報を熱意をもってお届けして参りますので、皆様の温かなご支援とご意見をお待ちしております。  
(K)

神戸海星病院ニュース 2月号 2012年 2月 1日 発行

医療法人財団 神戸海星病院  
〒657-0068 神戸市灘区篠原北町3-11-15 <http://www.kobe-kaisei.org/>  
TEL 078 (871) 5201(代表) 責任者 辻本 武志 編集責任者 森元 秀敏